

放任果樹の伐採支援

丸川委員 条件に値するもので、令和6年度の申請数と執行数は。

当局 区長を通じて要望を案内させていただいた。申請数は56本で執行数は10本である。

笹原委員 申請が多かった実態があるが、どのくらい拡充になるのか。

当局 令和7年度については、一本当たりの伐採の上限が2万円となり、想定は伐採本数は50本を予定している。



クマが来る前に切ります

森林保険加入状況

丸川委員 森林保全事業について、本町の森林保険加入状況はどうなっているか。

当局 森林整備センターや、「やまがた森林と緑の推進機構」の森林については加入しているが、財産区や私有林の加入は確認されていない。

丸川委員 財産区への保険の加入について進めていくのか。

当局 伐採と植林が進んでいる状況なので、森林事業者はもちろん、町からも加入を促していきたい。

商工費

新産業用地造成計画

丸川委員 整備基本計画等の策定の時期をどのように見込んでいるのか。

当局 整備基本計画に加え、農村産業法に基づく計画も立てる必要がある。大変ボリュームの大きい計画になっていることから、年度末くらいになると見込んでいる。

人材確保対策事業

横山委員 町は専門家を派遣などさまざまな企業支援事業を行っている。新たな支援を始める目的は。

当局 これまで社内研修や製造業への技能習得などを支援してきた。今後は幅広い業種を対象に、リスキリング（職業能力の再教育など）を通じた労働生産性向上につながる取り組みを促進したい。

地域循環型白鷹ウエルネスツーリズム推進事業

横山委員 さまざまな観光プログラムがある。観光事業の連携をどう進めるのか。

当局 新たな観光資源をつくるのではなく、これまでの観光資源を磨き上げていくための縦串、横串となる連携を「ウエルネスツーリズム」というキーワードのもとで進め、観光資源のさらなる魅力化や稼ぐ力などにつなげたい。



土木費

空き家等の解体補助金を増額

佐々木委員 空き家等の解体補助金を増額する理由は何か。

当局 近年の工事費や資材費の高騰、アスベスト検査費用の加算などで、解体をためらう事例が見られる。物価上昇分を加味し、上限を50万円から60万円に増額したい。



住宅セーフティネット事業

笹原委員 対象となる「住宅確保要配慮者」とはどういう人を想定しているか。補助は申し込み順になるのか。

当局 低所得者、子育て世帯、新婚世帯、多子世帯など（それぞれに収入要件あり）で、先着順の選定となる。